読者の広場

投稿送り先　・郵便なら　〒151-8675　東京都代々木郵便局私書箱62号　・メールなら hensyukoe@jcp.or.jp　・FAXなら 03(3350)1904

冷淡な菅政権 本質明らかに

堺市　大和　峯二（77歳）

「ワクチン接種の予約も取り消された」という怒りの声が私の身近な人からも聞かれるように、菅政権が言うことと実際は大きく立ち遅れています。

中小業者に対する補償でもある持続化給付金や、家賃支援給付金を求める悲痛な声が連日報じられていますが、再支給を拒むなど国民の声に耳を傾けない冷淡な菅政権の本質が日ごとに私たちの前に明らかになっています。

その一方で、感染者が急拡大している中、オリンピックを強行しようとしており容認できるものではありません。

このまま強行すれば外国から多くの選手をはじめ報道関係者らが来日して、人流もかなり増加すると言われています。国民の命をかけてまで五輪開催の大義はありません。

菅総理は、国民に納得してもらう五輪開催の意義を語ることすらやっていないのです。足もとで感染者が増加し、専門家会議メンバーからも「普通はない」と言って警告されている開催の強行は許されることではありません。

ふれだいこ

東京に宣言
私の安全安心が危う
くなってきた
――菅総理
伊丹・しゅん太郎

産休でイヤミ 同僚達の支え

千葉・八千代市　末次　治子（79歳）

9日付の池内さおりさんのラジオ番組の記事を読んだ。

先日、30年ぶりに同じ課で働いた女性5人と会えた。私は昭和40年代に共働きで子どもを産んで働いていた。2子目の時、上司に産休をいつからいただくと伝えた時、〝またかよ〟といやな顔で言われた。

この市役所では結婚すると退職、子どもができると退職が当たり前の時代。同僚だった女性たちから、あなたが道をつけてくれたので退職せずに働けた、と言われ後輩のためにも頑張って来たんだ、とうれしく思った。

パワハラ、セクハラに毅然（きぜん）と向かえたのも、あなたたちの陰のサポートがあったので頑張れたと話した。

子どもの発熱等で残業ができない時、上司からイヤミを言われたが、同僚が温かい目で支えてくれた。ある時は、廊下ですれ違った他の課長が、私の息子も大学であなたと同じ活動を始めた、がんばりなさいと小さな声で話され、とてもうれしかった。

生き抜くために黙らない気持ちを強く持ち頑張ってほしいと思う。

イライラ政治 断ち切る選挙

愛知県　畑中　芳枝（自営業　71歳）

14日付本欄「孫がコロナに」の川瀬綾子さん、本当に腹が立ちますね。自宅待機という名の放置の上、2回目のPCR検査は自費！

私の友達も濃厚接触者の連絡があり、検査のため受診すると自費で高額の検査費用を取られた、と言っていました。健康保険の扱いにもならないんですね。

年金でコロナ禍でも何とか生活していますが、若い世代だったら長い隔離期間は経済的に生きていけません。

外国から続々と五輪関係者が来日する様子を見聞きするにつけ、疑問だらけ、怒りだらけです。ワクチン不足、酒「取引停止」圧力など数えきれない。政府にイライラの毎日です。

内閣支持率が下がっても選挙になると自民党勝利という負の連鎖を今度こそ総選挙で断ち切らなければ、このイライラは止まりません。

声の届いていない人々に私たちの声を届けるにはどうしたらいいか、今考えています。まず高校生になった孫に志位さんの『高校生に語る日本共産党』のパンフを渡すことにしました。

足をバタバタ
花田　耕介（60）　福島県

すなぶっ

シャッターをかまえたらハチが足をバタバタして、よ～く花粉をつけてきました。

応援に行った 曽根さん当選

相模原市　石田　業明（73歳）

都議選投開票日の4日夜、テレビの画面に「そねはじめ当確」が表示されると、一日でも応援に行ったかいがあったとうれしくなりました。

東京都北区の赤羽で勤務していた時、同じ道産子として親しみを感じ、北区の住民のために奮闘する姿に敬意を持っていました。

今度の都議会議員選挙は都民だけの問題ではなく、スガ自公政権の五輪に対しての暴走をストップさせる選挙でした。曽根さんの議席はどうしても守らなければならない議席と思い、いても立ってもいられず応援に行くと、テキパキとした指示をうけ、軽快に法定ビラを配布できました。

曽根さんに一票を投じてくれた皆さん本当にありがとうございました。曽根さん、都民の生活を守るため、ますますの活躍を期待します。

当選後すぐの19人の新都議による「五輪中止申し入れ」は圧巻でした。

絵手紙

大阪市　小寺富美代

埼玉・久喜市　坂本洋子

断らない診療 続く初心感動

大阪市　中島　敏子（77歳）

西淀病院（大阪市）の小玉裕加子看護部長の記事「新型コロナウイルス感染症対策のとりくみ」（健康友の会新聞7月号）を読みました。あらためて地域に根ざした西淀病院の姿勢に深く感動しました。

2020年の1月からコロナ感染が広がる中、全職員に「断らない診療の実践」を、学習とともに徹底したと。3月には地域医療連携をすすめるとともに、テント外来からプレハブでの発熱外来の継続など、まさに西淀病院の初心「命は平等」です。

設立時の「われらの病院できた」と地域の労働者がたたえた西淀病院です。

査脱タケ子医師が、台風被害の中たらいに乗って地域の患者さんを診療した話を思い出しました。友の会新聞を会員へ配りながら、ともにがんばろうと思ったことでした。

わが町の巨匠 お絵描き屋さん

山口・宇部市　米本　久子（74歳）

金曜日の朝、久しぶりにのんびり「赤旗」を読んでいる時「あれっ！この絵見たことある」と。

それもそのはず知る人ぞ知るわが町の、えんぴつ画家・岡本正和さんの作品でした。2日から始まった「くらし・家庭」面の「スケッチ小話」（金曜掲載）の絵です。

私が岡本さんのえんぴつ画に出あったのは随分前ですがその時の衝撃は今も忘れません。

技術的な面はもちろんですが、一枚一枚に込められた作者の自然や人々の生きてきた歴史に対する温かい気持ちが伝わってきて、心が癒やされました。

かやぶき屋根の家、橋、線路の踏切や外国の絵なども魅力的です。

原画展に行ったり絵にまつわるエピソードや裏話を聞く機会もあり、ますますファン度上昇中。

「お絵描き屋」と謙遜しておられますが、三上満さんの『賢治の北斗七星』の表紙と各章を飾ったり、ファンも多い。「スケッチ小話」を楽しみにしています。

投稿募集　こどものひとこと

子どもの発想ってほんとにステキですね。子育て中の方、楽しいお子さんのひとこと、教えてください。お孫さんのひとことや、思い出のひとことも大歓迎です。100字前後でどうぞ。お気軽にお寄せください。

宛先は「読者の広場」の上段にあります。

福岡県　ひむかいこう

聞いて聞いて

五輪より命が当然　「五輪より命」。これが当然です。スガ政権はコロナ対策をまじめにやるべきです。
（埼玉・加須市　野本柳子）

孫の動員撤回され　神奈川に住む小学生の孫（小6）。オリンピックの見学に行かされるのではと心配していたら、撤回されたということでホッとしました。
（高知市　森田美紀）

コロナの対策こそ　東京五輪は中止して、コロナ対策に集中を!!
（福岡市　中村龍彦）

2月に孫生まれて　2月に孫が生まれました。日々成長する姿を見るたび子どもたちに生活しやすい世界を残さなくてはの思いを強くしています。
（富山・高岡市　高田正義　72歳）

いつかは梅干しに　数年前から、梅酢、梅シロップ、梅酒等を作っています。梅干しはまだ挑戦できていませんが、時間の余裕がある生活になった時には挑戦してみたいです。
（札幌市　宮川こずえ）

本が私にエールを　久しぶりに居室の大清掃。気分も一新できて、学習意欲も湧いてきました。さて何から手をつけていこうか。あれもこれもと読みたい本が私にエールを送ってくれます。
（徳島市　船越昌一）

孫が出場はつらつ　ソフトボールの大会に孫が出場し、久しぶりに若人のはつらつとした姿を見て、元気をもらいました。
（長野市　松本光喜）

入院の夫面会謝絶　コロナ禍で、今年1月に入院した夫（脳梗塞）と面会謝絶になり、本人も絶望していると思うし、どんどん悪くなってゆくのに本当に情けない。私は、コロナのワクチンをしているのですから会えないかと思う。
（東京・足立区　長谷川倫子）

孫の動員撤回され　神奈川に住む小学生の孫（小6）。オリンピックの見学に行かされるのではと心配していたら、撤回されたということでホッとしました。
（高知市　森田美紀）

コロナの対策こそ　東京五輪は中止して、コロナ対策に集中を!!
（福岡市　中村龍彦）

2月に孫生まれて　2月に孫が生まれました。日々成長する姿を見るたび子どもたちに生活しやすい世界を残さなくてはの思いを強くしています。
（富山・高岡市　高田正義　72歳）

いつかは梅干しに　数年前から、梅酢、梅シロップ、梅酒等を作っています。梅干しはまだ挑戦できていませんが、時間の余裕がある生活になった時には挑戦してみたいです。
（札幌市　宮川こずえ）

本が私にエールを　久しぶりに居室の大清掃。気分も一新できて、学習意欲も湧
（東京・足立区　長谷川倫子）

2時間でビラ10枚　脳梗塞で倒れてから、毎日散歩して少しずつ歩けるようになってきました。2時間かけて、10枚のビラをくばりました。
（愛知・豊川市　真田忠雄）

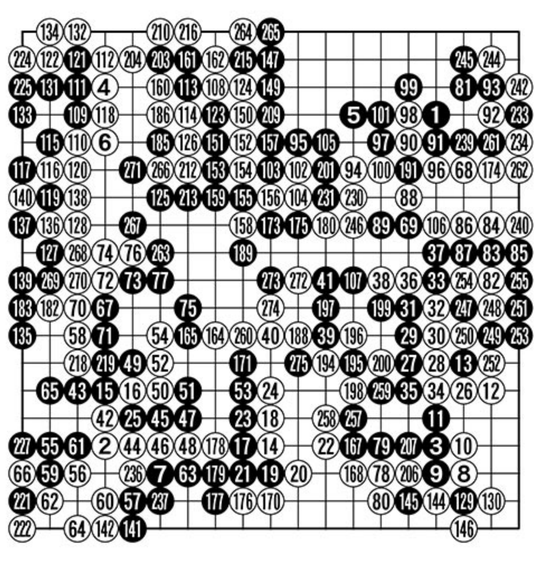
休まずに3年配達　夫は毎朝、日刊紙の配達をしています。3年になりますが一日も休まず配達する姿に頭が下がります。
（京都市　大林薫）

庭に育つコデマリ　紫陽花に似たコデマリが大きく育ち、わが家の庭を楽しませてくれています。暗い世間を明るくするように咲いているのを見ると「ほっ」とします。
（岡山市　大野康子　65歳）

囲碁第46期 新人王戦

（2回戦第8譜　1～275　第4局）

黒　二段　西岡　正織（和歌山出身　23歳）
白　三段　阿部　良希（兵庫出身　24歳）
（各3時間持ち、黒6目半コミ出し）



勝利をもぎ取る

275手完　黒中押し勝ち

黒189と中央の備えを打てた時点で、黒が逆転したと関山利道九段。

結局、左辺の長い長いコウ争いは白が242、244の連打で手を打つことになり、隅の黒が生還した。

最後は地合がはっきり黒よしになったので、阿部は潔く投了。優勢の時間帯が長かっただけに、阿部にとっては残念譜となった。

序盤から意欲的な応酬があり、中盤以降は読み比べに終始した一局だった。左上隅に黒109と入ったのが疑問手で一度は黒が形勢を損ねたが、その後に西岡が見せた第一線の綱渡りがすごかった。

その他にも随所にすさまじい粘りがあり、西岡が力づくで勝利をもぎ取った碁と言えるだろう。

そういえば西岡は1回戦の高嶋湧吾三段戦でも、苦しい碁を執念の粘りで、逆転の半目勝ちを収めていた。明るくさわやかなキャラクターに加えて、泥臭く勝利にこだわる根性も持ち合わせているようだ。

西岡は3回戦で西健伸五段と対戦する。1回戦から全て関西棋院勢が相手という、ちょっと珍しい組み合わせだ。

（大野鉄平）

黒143（119）コウ取る、白148（140）〃、黒163〃、白166〃、黒169〃、白172〃、黒181〃、白184〃、黒187〃、白190〃、白192（90）二子取る、黒193（119）コウ取る、白202（140）〃、黒205〃、白208〃、黒211〃、白214〃、黒217〃、白220〃、黒223〃、白226〃、白228（221）ツグ、黒229（119）コウ取る、白232（140）〃、黒235〃、白238〃、黒241〃、黒243（140）ツグ、白256（247）ツグ

（消費▽黒2時間59分▽白2時間59分）

将棋第52期 新人王戦

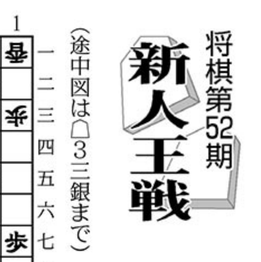
（3回戦第1局譜）

先▲四段　折田翔吾（31歳）
▽六段（現七段）梶浦宏孝（26歳）
東京出身

持ち時間各3時間　消費時間▲0分　▽5分

▲7六歩　▽8四歩3
▲6八銀　▽3四歩
▲7七銀　▽4二銀
▲4八銀　▽3二金（途中図）
▲2五歩　▽3三銀
▲3六歩　▽8五歩1（指し手20手）
▲5六歩　▽5四歩
▲6九玉　▽5二金
▲7八金　▽4一玉1

（途中図は▽3三銀まで）



▽梶浦　なし　▲折田　なし

（指了図は▽8五歩まで）

▽梶浦　なし　▲折田　なし

8年の空白

この月一番の寒さとなった4月15日。前日の春雨が去り青空が広がっている。本局が掲載されるころは蒸し暑さが日本を覆っているはずだが、そのころ新型コロナウイルスの状況はどうなっているか？そんなことが頭をよぎりながら盤側は席に着いた。

梶浦宏孝七段

東京・将棋会館4階、「飛燕の間」。となりの「銀沙の間」とひと続きになっているが、この日は本局だけ。閑散としている。廊下との間のふすまも開け放たれ、脇には空気清浄機も働く。仕方ないコロナウイルス対策だが、風が入り、少し寒い。

本局は3回戦・第5局。今期も全体の中間点を過ぎ、ベスト8進出への激戦が続いている。

前日に上京した折田翔吾四段。盤側は初めての観戦。長身で、頭は丸刈り、黒いスーツをまとっている様子は僧侶の印象。しかし、淡いピンクのシャツにチェックのタイというオシャレないでたちで、そのギャップが〝ウフフ〟とさせる。

対戦相手の梶浦宏孝六段とは初対局かと聞くと、「三段リーグで2局、対戦しています」とのこと。その時の戦績は、仲良く「1勝1敗です」と、これは梶浦の話。それ以来、本局は約8年ぶり、2人はプロ棋士としての初対局を迎えた。ともに居飛車党。戦型は矢倉に。（蝶谷初男）

■藤沢、ベスト4ならず―囲碁・呉清源杯

中国主催の女流棋士国際棋戦「第4回呉清源杯世界女子囲碁選手権」が18～20日に準々決勝までネット対局でおこなわれました。

日本の藤沢里菜五段は準々決勝に進出、20日に中国の於之瑩六段と対戦しましたが敗れ、日本勢はここで敗退となりました。

日本からは他に上野愛咲美四段、鈴木歩七段、謝依旻六段、仲邑菫二段が出場。上野、鈴木、仲邑が1回戦を突破しましたが、2回戦で敗れました。謝は1回戦でおしくも敗退となりました。

［2021・7・23・金］

棋界メモ